

消化器内科

【一般目標（GIO）】

消化器疾患における症状や診断するために必要な各種検査の把握および理解をし、検査結果の分析と解釈や治療方針の決定など消化器疾患の基本的臨床能力を身につける

【行動目標（SBO s）】

- ① 的確な問診と理学所見を実施し、記載することができる
- ② 的確な診断をすることができる
- ③ 必要かつ適正な検査を実施し、検査結果を解釈することができる
- ④ 消化器科領域で頻度の高い疾患を理解することができる
- ⑤ 消化器科領域の治療を理解し、説明することができる
- ⑥ 消化器科疾患で緊急を要する症状・病態に対して初期治療に参加できる

【研修方略（LS）】

- ① 病棟、救急外来での実務研修（On-the-Job Training：OJT）を行なう
- ② 指導医・主治医の指導の下、患者の診察や治療計画に参加する
- ③ 各種検査の見学・介助を行ない、手技の理解や結果の解釈を行なう
- ④ 各種のカンファレンスに参加する

【研修評価（Ev）】

- ① 自己評価：消化器科研修修了時に評価表による評価
- ② 指導医による評価：各科研修修了時に評価表による評価

【代表的経験疾患】

食道癌・逆流性食道炎・胃,十二指腸潰瘍・胃癌・炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）・大腸癌・大腸ポリープ・胆石症・総胆管結石症・胆嚢炎・急性,慢性膵炎・膵癌・急性肝炎・慢性肝炎・肝硬変・肝臓癌・過敏性腸症候群・ヘリコバクターピロリ感染症

【週間スケジュール】【消化器内科】

	AM	PM	カンファレンス
月	病棟回診 内視鏡	内視鏡・検査	
火	病棟回診 腹部超音波検査	内視鏡・検査	薬剤説明会（不定期） 《17：30～18：00》
水	病棟回診 内視鏡	内視鏡・検査	病棟カンファ（4北） 《17：00～17：45》
木	病棟回診 腹部超音波検査	内視鏡・検査	外科カンファ（3南） 《17：00～17：45》
金	病棟回診 内視鏡	内視鏡・検査	

※注意事項

- ・平日朝は 8:30 に来棟し、受け持ち患者の状態を確認し、必要な指示・処方などを行う。
- ・上部・下部消化管内視鏡下生検を少なくとも 30 例は行う。
- ・下部消化管検査時に検査医とともにポリペクトミーの介助を行う。
- ・入院患者は毎日確認し、興味ある症例では自ら進んで担当医となること。
- ・カルテ記載：プロブレムは必ず記載し、腹部疾患の患者は毎日腹部所見を記載すること。
- ・上部消化管内視鏡の模型を用いて、積極的に内視鏡の練習を行う。
(放射線科看護師にその旨依頼すること)。
- ・腹部超音波検査はスクリーニングを 10 例経験する。
- ・(描出困難な場合など、検査時間が長くなり患者・技師の迷惑とならないように注意すること)
- ・経験した症例は記録に残し、ローテート終了時に提出すること。
- ・当直明けは原則午前中のみ勤務とする。帰宅時は上級医にその旨を告げること。